

天津市VOCs汚染の防止と処置作業についての説明

天津市生態環境モニタリングセンター
2018年10月

VOCs汚染の防止・処置についての中国政策と要求

- VOCs汚染の防止・処置作業は大気汚染防止・処置の重点となり、「『十三五』ボラティリティ有機化合物汚染の防止・処置作業計画書」を策定した。
- ボラティリティ有機化合物を対象として、ソース管理、プロセス管理、最終処理及び包括的な利用を実施するために、標準資料を作成した。
- 鉄鋼、石油化学製品、合成樹脂などのVOCs排出主要産業に対してVOCs排出を管理し、関連する統制基準を策定して公布した。

天津市VOCs汚染防止・処置の一連作業



- 排出コントロールと源コントロールという方面でボラティリティ有機化合物汚染の防止・処置を強化することを明確させた。
- 天津市「工業企業ボラティリティ有機化合物排出コントロールの基準」（DB12/524-2014）を頒布して、汚染排出のモニタリング作業は法律に守らせてきた。

天津市VOCs污染防治・処置の一連作業



- 地域汚染を対象とする共同防止と共同管理を強化させ、初めての地域的な地方標準を立て、京津冀の地域共同発展を促した。
- 「建築用塗料及び接着剤のボラティリティ有機化合物含有量の基準」（DB12/3005-2017）を策定した。

天津市VOCs汚染防止・処置の一連作業



- 汚染源排出のモニタリングを強化し、VOCs重点産業における自動モニタリングシステムの建設を促進した。
- 天津市の「固定汚染源ボラティリティ有機化合物を対象とする連続モニタリングシステムのインストールとネットワーキングの技術仕様書『試行』」が発行された。

次の課題



環境空気臭気汚染源の解析



石油化学、化学工業、包装、印刷及び工業用ペンティングなどのVOCs主要汚染源に対する、継続的なオンラインモニタリングを促進